

総合的な学習の時間 学習指導案

令和7年11月12日(水) 第6校時

1年 C組35名

指導者 白根 和延

1 単元名 『人はなぜ働くのか』～キャリア教育Ⅰ：働く意義や求められる資質・能力～

2 単元設定の理由

(1) 教材について

- ・働く意義や働く上で求められる資質・能力について第一学年時から考えさせることは、自分なりの職業観を早期に形成させ、学習者一人ひとりが中学校卒業後の進路を思い描くことにつながる。「人はなぜ働くのか」を考えることで、夢を抱いたり目標を立てたりして日々の学校生活を送るきっかけとなる教材である。
- ・働く意義や求められる資質・能力は答えが一つに絞られるものではなく、多様な考え方が混在するものであり、学習者一人ひとりが探究的に学習する中で自分なりの考えを形成することが可能である。
- ・働く意義や求められる資質・能力について考える過程で、仲間と話し合い、協働的に学習を進めることができる。また、職業人講話や職場体験の実施など、学校外の人々から学びを得る場を設けることも可能であり、たくさんの人々との関わりを持ちながら学習することができる。

(2) 学習者について

- ・単元開始前のライフプラン作りにおいては、勤労の必要性を学習者は理解できていた。しかし、「働く意義とは何か」「そこで必要な力はどのようなものか」については十分に理解できていない様子があった。
- ・学習者は、入学者選抜試験を経て入学してきており、学力は全体的に高い集団である。将来は専門性の高い職種に就くことを望んでいる者が多い。しかし、その実現を目指す中で、全体として各教科の知識及び技能を高めることに重きを置いている傾向があり、社会人として、あるいは働き手として生きていく上で必要な資質・能力の具体やその重要性に気付いている生徒は少ないと感じられる。
- ・班活動等で、仲間と協働的に学習することに意欲的な学習者が多く、相手の考えを聞き、他者から学ぼうとする姿勢が強い。また、各教科では、班で協力して情報を集め、整理・分析を行い、まとめを発表会形式で行う学習に多く取り組んできており、仲間と協働的に学習する素地はできている。

(3) 指導について

- ・働く意義や求められる資質・能力についての考えを深化させるために、様々な角度からの思考を促したい。具体的には、自分なりの仮説を立てた上で、複数の職業人の講話を聴かせたり、インターネット等を用いて調べ学習をさせたり、勤労の体験をさせたりする学習活動を設定し、多面的・多角的に考えを深めさせたい。
- ・年間の学習を3つの小単元に分割し、それぞれにおいて課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の探究のサイクルを意識した授業プランの下、働く意義や求められる資質・能力について考えを深化させたい。また、経済産業省の示す「社会人基礎力」なども紹介しつつ、社会で働く上で力を学校生活の中で育成することの重要性にも目を向かせたい。
- ・学習者の良さを生かすために、個人の考えを班や学級の仲間と共有する場を積極的に設け、対話型の学習形態で思考の深化を促したい。また、学習のまとめの段階では発表会形式の活動を設定することで、各教科の授業で取り組んできたプレゼンの技術を駆使しながら、仲間と協働して取り組めるようにしたい。

様式2 単元プランシート

単元プランシート(総合的な学習の時間 1年)

実施時期 5~2月

単元名		『人はなぜ働くのか』～キャリア教育Ⅰ：働く意義や求められる資質・能力～
単元の目標		職業人講話や職場体験、学習発表会を通して、働く意義や働く上で求められる資質・能力の具体について自分なりの考えを形成し、その育成のために中学生のうちからできることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようとする。
評価規準	知・技	①働く意義や働く上で求められる資質・能力は一つに絞られるものではなく、多様な側面があり、自分なりの考えをもつてることが大切であること、資質・能力については中学生の段階から高められるものがあることを理解している。 ②働く意義や求められる資質・能力についての調査を、対象に応じた適切な方法で実施している。 ③働く意義と求められる資質・能力についての理解の深化は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。
	思・判・表	①勤労に関する様々な疑問の中から課題を発見し、自分なりの仮説を立てている。 ②自分の仮説を検証するために必要な情報を効果的に収集する手段を選択している。 ③職業人講話や職場体験で学んだ内容を比較したり関連付けたりして、働く意義や求められる資質・能力についての考えを深めている。 ④働く意義や求められる資質・能力についての自己自身の考えを、相手や目的に応じてまとめ、効果的に発表している。
	主体	①異なる意見や仲間の考えを受け入れて、自分の学びに活かそうとしている。 ②働く意義や求められる資質・能力の探究のために、自他のよさを活かしながら協力して取り組んでいる。 ③自己の生き方を考え、自分の中学校生活を見つめ直して、さらに成長しようとしている。

評価規準を満たす学習者の姿・具体例

知・技	①ワークシートに以下のような記述がある。 「最初は働く意義はお金のためだと思っていたけど、社会のためでもあると思いました。自分の働きが誰かのためになっていると知りました。また、働くのに必要な特別な技術もあるけど、敬語を使うなどの今のうちからできることもあるので国語の授業などをしっかりと受けたいです。」
	②・インターネットで調べる際に、複数のサイトを比較したり、公的機関などが作成した信頼のおけるサイトの情報を参考にしたりしている。 ・インターネットで調べることと職業人講話・職場体験を通して調べることとを分けて、調査の計画を立てている。 ③ワークシートに以下のような記述がある。 「最初は働く意義はお金のためだと思っていたけど、マチュー先生の話を聞いて、自分の可能性を広げるためだとも思いました。また、コープで働いてみたら、今度は自分以外の誰かの生活の役に立っているということも分かり、働く意義は様々な面があるということが分かってきました。」
思・判・表	①・ワークシートに自分が気になること、さらに調べたいことなどについて触れている記述がある。 ・新たな仮説を創造する発言をしている姿がある。 ②・職業人講話の際に、自分が検証したい仮説を立てた上で講話を受講している。 ・職場体験の際に、事業所の方々にインタビューすることで検証する内容と体験を通して検証したい内容を整理した上で、職場体験に参加できている。 ③ワークシートに以下のような記述がある。 「職業人講話で、大津さんが今隣にいる友人を大事にしてほしいと言っていたけど、野田麗華園でも花が届くまでに自分たちに関わっているたくさんの会社の人々とのつながりを大事にしていると言っていたので、周りの人とのつながりを大切にするこということが大事なんだと思いました。」
	④発表会後のワークシートに以下のような記述がある。 「スライドで工夫したところは、クラスメイトに分かりやすいように、自分たちが学んだことを太字で書いて、色も目立つ色を使ったところです。」
主体	①授業での全体共有の際に、仲間の意見や考えを積極的に聞いて参考にしている。 ②話し合い活動において、積極的に話し合いに参加し、役割を引き受けるなどしている。 ③ワークシートに以下のような記述がある。 「総合の授業を通して、小さい頃からの夢だった医者になりたいという気持ちがより強くなりました。そのために、まずは行きたい高校にいけるように、日頃の勉強を頑張るのはもちろん、職場体験で学んだ他者を思いやる気持ちなどをこれからの中学校生活に活かしていき、患者さんによりそえる医者になれるように頑張りたいです。」

指導と評価の計画(50時間)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	評価計画			評価方法
		知	思	態	
①身の回りの職業人の話を聞いて働く意義について考えよう(13)	<ul style="list-style-type: none"> ・働く意義に関する仮説を立てる。 ・職業人講話を聞いてメモした内容を整理する。 ・職業人講話で学んだ内容をもとに、働く意義について学級で班ごとに発表会を行う。 		① ② ②	④	ワークシート ワークシート 行動観察
	<p>【課題の設定①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力について知る ・社会人基礎力に照らし合わせた自己診断を行う。 ・小単元2の課題を設定する。 		①		ワークシート
	<p>【課題の設定②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業適性自己診断を行う。 ・働く意義とそれに必要な資質・能力について自分の考えをもつ。 		①		ワークシート
	<p>【情報の収集①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験希望業種アンケートをする。 				
	<p>【情報の収集②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各業種の概要や具体的な事業所について調べる。 				
	<p>【情報の収集③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各業種の概要や具体的な事業所について交流する。 				
	<p>【情報の収集④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の訪問する事業所を知る。 ・自分の事業所について調べる。 				
	<p>【情報の収集⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の情報を共有する 				
②職場体験を通して働くことの意義や求められる資質・能力について考えよう(15)	<p>【情報の収集⑥】 ※本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験先の事業所で求められる資質・能力についての仮説を立てる 		①	①	ワークシート 行動観察
	<p>【情報の収集⑦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説を検証するための質問を考える。 		②	②	ワークシート 行動観察
	<p>【情報の収集⑧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段やマナーについて確認する。 				
	事前指導をする。				
	<p>【情報の収集⑨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に労働の現場を体験する。 ・職業や資質・能力について取材を行う。 ・職場体験で学んだことを記録する。 	①	②	②	ワークシート 行動観察
	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を振り返り、職場の方へお礼状を書く。 ・体験先でのインタビューやアンケート結果を整理する。 	①	③		ワークシート 行動観察
	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験を通じた学びをスライドにまとめる。 ・課題の解決に向けて、自身の考えの深まった点や、自分自身の在り方、将来の生き方について考える。 	①	③		ワークシート google スライド
	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元2の学びからことを発表する。 ・学習発表会に向けての準備をする。 	②			行動観察 google スライド
③「人はなぜ働くのか」を考えを発表しよう(16)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を実施する。 	②	④	① ②	行動観察 google スライド
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の学びの振り返りをする。 	① ③		③	ワークシート

①:形成的評価 ②:総括的評価

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(8/15)

(2) 題材 『人はなぜ働くのか』～キャリア教育 I：働く意義や求められる資質・能力～

(3) 本時のねらい 各事業所で求められる資質・能力について、班の仲間と話し合ったり他の班の考えを聞いたりする活動を通して、職場体験で検証すべき仮説を立てることができる。

(4) 展開

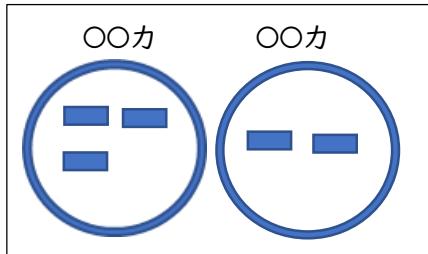
時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	備考
4	1.前時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に各事業所の業務内容を共有したことを確認する。 ○小単元2のテーマ「働く上で求められる資質・能力の探究」を確認する。 ○各事業所に求められる資質・能力には違いがありそうなことを確認する。 	
1	2. 本時のめあてを知る	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて:各事業所で求められる資質・能力についての仮説を立てよう</div>	
15	3.自分の事業所で求められる資質・能力についての仮説を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の事業所の具体的労働場面を個人で想像させる。 ・ふせんに思いつくままに書かせる。 ○具体場面について同じ事業所の班員と協働して想像させる。 ・事業所の班毎に着席させる。 ・ふせんに追記させる。 ○各場面で求められる資質・能力の仮説を考えさせる。 ・班毎に1枚の用紙にKJ法でまとめさせる。 	<p>【思判表①】 行動観察</p> <p>【主体①】 行動観察</p>
25	4.仮説を全体で共有する	<ul style="list-style-type: none"> ○ワールドカフェ形式学習の方法を伝える。 ・各事業所の班のホストは班長にさせる。 ・一つの班に最低聞き手が2人存在するよう指示する。 ・聞き手は自分の椅子を持っていき、複数回他班の発表を聞くことを確認する。 ○ワールドカフェ形式で自分たちの仮説を共有させる。 ・ワークシートにメモを取りながら聞くよう促す。 ・ホストの発表後、聞き手は資質・能力の仮説の付け足しをするよう促す。 ・発表及び付け足しの時間は4分間に制限する。 ○交流して得た学びを自分の班に還元させる。 ・ホストには他班の仲間からもらった付け足しについて班員に還元させる。 ・他班のホストの発表を聞きに行っていた班員には、そこで得た学びを班長に還元させる。 ・自分たちのKJ法の用紙を加筆させる。 	<p>【主体①】 行動観察</p>
5	5.振り返りをする	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに本時の振り返りを記入させる。 ○数名の生徒を指名し、振り返りの内容を発表させる。 	<p>【思判表①】 ワークシート</p>

(5) 努力を要する学習者への配慮

- ・グループでの話し合いに入れていない場合は、指導者が班員の発言に対してどう思うか問い合わせるなどして、思考を促す。
- ・小単元2の初めに扱った「社会人基礎力」のスライドの活用を促す。
- ・ワークシートにメモをする際に、自分が大切だと思ったことを思いつくままに書かせる。

(6) 学習記録計画

めあて 各事業所で求められる資質・能力についての仮説を立てよう



めあて：各事業所で求められる資質・能力についての仮説を立てよう

メモ

メモの内容の視点：（自分の班と同じだったこと）

（自分の班での話し合いで出てこなかったが、「確かにそれは自分たちにも大事だ」と思ったこと）

～振り返り～

振り返りの視点の選択肢：①今日立てた仮説について、自分はどのようにその力を育成・発揮していきたいか。

②自分の行く事業所で求められる資質・能力について考えが深まったことについて

選んだ振り返りの視点の番号 → 【 】
